

第6回 学術集会のご案内

『みつめなおす看護の本質 ～私たちらしく働き、その人らしさに寄り添う～』

今年度は、事例発表とシンポジウムの2本立てで開催をいたします。

事例発表では、訪問看護の実践から学びを得ていただき、シンポジウムでは多職種の方たちと
対面での討議を行い、日々の連携について共に学びませんか？

日時：2024年11月2日(土) 11:00～16:30

- 対象：看護師・セラピスト等訪問看護に従事する者
- 会場：大阪府社会福祉会館401号室 大阪市中央区谷町 7-4-15
- 参加費：会員 2,200円/人 非会員 4,400円/人
- 申込方法：当協会 HPより <https://daihoukan.or.jp>
- 右記QRコードよりweb申込 研修記号【701】参加費振込時に入力必要
- 申込締切：10月26日(土)



コメンテーター：大阪公立大学看護学部 地域包括ケア科学分野 教授 河野あゆみ 先生

第一部 11:00～12:30 事例発表I

■新卒訪問看護師スタート・プログラム修了生発表

新卒修了生発表「意思表出支援～施設入所を望む独居高齢者の意向～」 美咲訪問看護ステーション(豊能)

- ① 血糖値コントロールに難渋した高齢患者に関する退院支援の検討・訪問看護ステーション あらたま(三島)
- ② 訪問看護師が行った地域とのつながりづくりから見えた看護の本質・訪問看護ステーション HAPPY(豊能)
- ③ 終末期における家族の予期悲嘆の過程と看護を振り返る・刀根山訪問看護ステーション(豊能)
- ④ 終末期の対象者に寄り添うコミュニケーション・わかくさ老人訪問看護ステーション(中河内)

第二部 13:30～14:30 シンポジウム テーマ『多職種連携の現状と課題』

〈シンポジスト〉

- かじもと内科在宅クリニック 医師 梶本 心太郎 ● 訪問看護ステーションかささい 在宅看護専門看護師 平山 司樹
- 河内医師会ケアプランセンター ケアマネジャー 柘田 亜希子 ● あけぼの薬局 薬剤師 村井 扶
- 市立豊中病院 医療ソーシャルワーカー 宮本 美和 ● 橋本クリニックヘルパーステーション 介護員 小藺 貴美子

シンポジストに日々の連携で困ってることやどうしたらいいか?など、色々聞いて日々の連携 に活かしませんか?

第三部 14:45～16:20 事例発表II

- ⑤ 多職種との連携により「老障介護」の状況の中、在宅看取りが行えた一事例～訪問看護師の役割～
・河内医師会訪問看護ステーション(中河内)
- ⑥ 「老老介護」における介護負担の軽減に向けた支援・訪問看護ステーション ソレイユ(市西)
- ⑦ やりたかったことを打ち明けてくれるまで～遠慮とお節介の狭間で～・南港病院訪問看護ステーション(市南)
- ⑧ 在宅領域における自主トレーニングの継続要因について考察した一症例・N-art 訪問看護ステーション(堺)
- ⑨ 独居で在宅看取りとなった利用者の支援～終末期の事例を通して振り返る～・N-art 訪問看護ステーション(堺)

学術集会開催時間中は、中央法規さんが医療に関する書籍を販売にも来てくれます。
専門書も手に取って色々学びを深めちゃいましょう!!!! 皆様の参加をお待ちしています。

お問合せ：一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会

〒542-0012 大阪市中央区谷町6-4-8新空堀ビル205号 TEL:06-6767-3800 FAX:06-6767-3801